



活動報告

●会員懇談会（富山会場）

【日時】11月28日(金) 14:30-17:00

【場所】ANA クラウンプラザホテル富山
(オンライン併催)

【参加】79名(会場51名、オンライン28名)

【テーマ】DX(デジタルトランスフォーメーション)

冒頭挨拶で、金井会長は「上期会員アンケートの結果から、北陸企業においてDX推進の一層の取組が必要である。また、DXを取り巻く環境の変化、特に生成AIの普及は定常業務効率化に留まらずクリエイティブな領域まで広がり、製造現場でも自立型生産システムの構築が行われている。」と述べた。

(株)大丸松坂屋百貨店 デジタル戦略推進室DX推進部の田端竜也部長は「創業400年の老舗百貨店が挑むDXを活用したビジネスモデル変革」と題して講演。創業400年の老舗百貨店が従来の店舗での洋服販売からDX活用によるサブスクリプション型のレンタルサービスに挑戦した実践例を紹介した。

(株)スカイエージ 浦川伸一代表取締役は「DX2.0北陸経済を元気にする3つの潮流とその方策」と題して講演。「DX2.0」として生成AIの本格活用、企業間の共創、データ連携の在り方を紹介し、既存の北陸の産業構造の変化の可能性に触れた。

閉会挨拶では庵副会長が、「デジタルの使い方・トランスフォーメーションとは何かについて示唆に富み、我々の課題を再認識させられた講演だった」と述べた。(担当：池澤)



●人財活躍推進委員会

【日時】12月2日(火) 12:20-13:45

【場所】金沢ニューグランドホテル3F

【参加】14名(会場11名、オンライン3名)

林委員長は冒頭挨拶で、今年1月に公表した「北陸企業DE&I推進の取り組み」報告書を基に、10月30日に開催した「DE&Iを語ろう」パネルディスカッションを紹介。現場の声と経営層の視点が交差する有意義な議論が展開され、聴講者からも前向きな感想が寄せられ、地域における関心と期待の高まりを実感したと述べた。また、今後も対話の場を通じて北陸企業がともに学び進化できるよう取り組みを続けていくと強調した。

事務局からは、2025年度活動計画に基づく中間報告として進捗や成果、課題を共有するとともに、2026年度から新たにスタートするアクションプランについて説明した。

委員からは、女性活躍に関するHPの改修案に対する意見・提案や、意欲ある人材の労働時間規制緩和に関する意見など、職場の声や自社の取組みを交えた闊達な議論が交わされ、今後の活動に反映すべき視点が示された。



(担当：宮本、高橋)

●新たな価値創出委員会

【日時】12月3日(水) 12:20-13:45

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢3F

【参加】16名(会場9名、オンライン7名)

北村委員長は冒頭挨拶で、北陸の「一人当たりのGRP(域内総生産)」を向上させるためには、デジタル技術を積極的に取り入れ、ものづくりの高度化と効率化を進めること、自動化が進んだ設備への投資



が重要だと述べた。

事務局からは、DX リスキル教育、産学技術交流会、北陸のシェアトップ 150(改訂版)を活用した北陸企業のPRなど上期委員会の活動報告と、第六次中期アクションプラン案について説明を行った。

委員からは、データの利活用にはデータの型式・フォーマットを統一することが重要であること、人材確保のため産学連携を今まで以上に密に行うこと、企業のデジタル化推進のためにスタートアップを育成・活用することなどの発言があり、今後の事業活動に鋭意反映させていくこととした。



(担当：江戸、西野)

●新たな価値創出オンライン講演会

【日時】12月3日(水) 14:00-15:00

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢 3F

【参加】47名(会場18名、オンライン29名)

中村留精密工業(株)Bridg3 事業部責任者 中宮正人氏が「人×デジタルで創る競争力 — 中村留の現場DXが変えるものづくり」と題して講演した。

デジタル技術の導入だけで止まりがちなDX推進だが、「人(現場)×デジタル(技術)」で初めて仕組みとなると解説し、工場レイアウトの可視化から始まった自社の取組がどのようにして深化していったのかを説明した。

また、現場からの改善提案を基にすることで必然的に使われるDXになると話し、加工現場稼働率の飛躍的な向上や、年間190時間にも上る組立工程の工数削減効果など事例を紹介した。



(担当：江戸、西野)

●社会基盤委員会

【日時】12月4日(木) 12:20-13:45

【場所】ホテル金沢

【参加】14名(会場11名、オンライン3名)

光野委員長は冒頭挨拶で、「北陸新幹線における最大の課題は敦賀新大阪間の整備であり、北経連として小浜京都ルートでの優位性を訴え早期着工を求めていく。また中部縦貫道の早期開通、港湾の強靱化、航空需要の確保、地方公共交通の維持なども重要課題となっている。」と述べた。

事務局からは、北陸新幹線をはじめとして道路・空港・港湾・地域交通に関する今年度の活動状況、BCM アンケートの結果を報告し、第六次中期アクションプラン案について説明を行った。

委員からは、経済・防災の視点から北陸新幹線敦賀以西の小浜京都ルートでの早期着工の必要性や太平洋側大規模災害の代替としての港湾整備促進の要望継続が示され、第六次中期アクションプランについては人財確保の観点からエッセンシャルワーカーに対するイメージアップの対策も必要ではないかとの意見が交わされた。



(担当：池澤、宮本、澤田)



●中部・近畿経済産業局との懇談会

【日時】12月10日(水) 13:30-15:45

【場所】ホテルフジタ福井 3階「天山の間」

【参加】61名(会場38名、オンライン23名)

金井会長は冒頭挨拶で、地域企業は人手不足や原材料・エネルギー価格の高騰等、厳しい経営環境に置かれている中で、DXの推進や新事業創出、さらには多様な人材が活躍できる職場環境の整備などに取り組む必要があると述べるとともに、エネルギーの安定確保・環境対策に向けては、発電時に二酸化炭素を排出せず、安定的に安価な電力を供給できる、原子力発電の活用が重要であるとした。

続いて、中部経済産業局の寺村局長、近畿経済産業局の林総務企画部長、電力・ガス事業北陸支局の向野支局長の挨拶後、北経連の林副会長が「北陸の地域内連携」について、近畿経済産業局の林総務企画部長が「大阪・関西万博」について、直近の活動を報告した。

その後、以下の3つのテーマで意見交換し、相互の協力・連携の方向性を確認した。

- ① 人口減少下における生産性向上・成長力強化に向けた支援
- ② 地域経済の持続的な成長・発展に向けた取組
- ③ エネルギー・環境対策



(担当：成瀬)

●総合対策委員会

【日時】12月11日(木) 12:20-14:20

【場所】ANAクラウンプラザホテル金沢 3F

【参加】18名(会場13名、オンライン5名)

稲垣委員長は冒頭挨拶で、高市政権が発足し「地域未来戦略」が掲げられ、企業誘致、投資促進、産業クラスター形成などの政策に北経連として取り組んでいきたいと述べた。また、北陸3県や中部地域で地域連携や協働の動きが加速している点にも触れた。

事務局からは、2025年度活動計画に基づく中間報告として進捗や成果、課題を共有するとともに、第六次中期アクションプランおよび2026年度活動方針について説明した。

委員からは、地域経済循環の持続的な創出の重要性や、ウェルビーイング推進に必要な視点、喫緊の経営課題としてサイバーセキュリティを挙げる経営者が多いなど、様々な意見が出た。これらの意見を2026年度からの新アクションプランならびに活動方針に織り込んでまいりたい。



(担当：宮原・宮下)

今後の行事予定

◆第366回常任理事会

【日時】12月17日(水) 15:00-16:30

【場所】金沢ニューグランドホテル 4F「金扇」
(オンライン併催)

- 【議題】(1) 役員の補充選任
(2) 第六次中期アクションプラン(案)
(3) 2026年度事業活動方針(案) など

(担当：鳥山)

◆新春経済懇談会

【日時】2026年1月26日(月) 15:00-17:20



【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【内容】日本銀行 大川金沢支店長による講演等

【対象】全会員 オンライン併催

(担当：鳥山)

◆会員懇談会 (全会員対象)

●福井会場

【日時】2026年2月4日(水) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井 (ザ・グランユアーズ
フクイ) (オンライン併催)

【テーマ】カーボンニュートラル

(担当：池澤)

お知らせ

■金沢工業大学からのお知らせ

【受講者募集】KIT リカレント教育

「情報技術教育プログラム」春期集中講義

企業に勤務する社会人の方が学生や教員と共に学び合いながら、AI やIoT といった先進情報技術を身に付けることができる教育プログラムです。

【教育プログラム】

- ・情報技術教育 (13 科目)
- ・期間：2026年2月18日(水)～3月11日(水)
- ・詳細：<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/>

【受講料】1科目あたり 24,000 円※別途検定料必要

【申込】12月22日(月)～2026年1月14日(水)

上記の詳細 URL から申込

【問合せ】金沢工業大学大学事務局 共創教育推進室

Mail：kit-ite@mlist.kanazawa-it.ac.jp

TEL：076-294-6743 (直通)

(担当：江戸、西野)

以 上